

*Your Guide to  
Consecutive Interpreting*

よくわかる  
逐次通訳

ベルジュロ伊藤宏美  
鶴田知佳子  
内藤 稔

東京外国語大学出版会  
*Tokyo University of Foreign Studies Press*



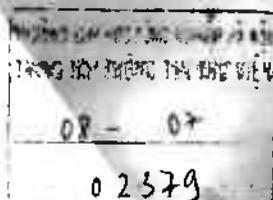
# よくわかる 逐次通訳

*Your Guide to Consecutive Interpreting*

ベルジュロ伊藤宏美

鶴田知佳子

内藤 稔



東京外国語大学出版会

*Tokyo University of Foreign Studies Press*



## よくわかる逐次通訳

## はじめに

「通訳は逐次に始まり逐次に終わる」と言われるほど、逐次通訳はあらゆる通訳行為の基本と考えられています。本書では、逐次通訳を理論と実践の両面から習得できるよう工夫を加えてまとめました。

通訳をする上で、会議通訳者は話し手が語る内容の意味を別言語で伝えることにより、会議参加者間のコミュニケーションを成立させます。その際、会議通訳者には、元の発話と同じような論理的で説得力のある訳出が求められます。スキルを身につける上で練習に勝るものはないとされますが、読者の皆さんが合理的に訓練できるように設計されています。

ここでとくに注意しているポイントは、①理論面でのわかりやすい解説 ②付録DVDでのプロ通訳者による実際のノートテイクと通訳例の紹介です。これにより、読者の皆さんが通訳の基本である逐次通訳を習得してくださるよう望んでおります。逐次通訳の要はノートテイクにあると言われてますが、DVD収録の映像を通して説明を加えることで、本書のタイトル通り「よくわかる逐次通訳」への近道を示しています。

本書は、パリ第三大学通訳翻訳高等学院 (Ecole Supérieure d'Interprètes et de Traducteurs : 通称 ESIT) と東京外国語大学大学院が国際学術交流協定を結んだことをきっかけとして、平成 19 (2007) 年度に文部科学省に採択された「即戦力となる通訳者養成のための高度化プログラム」の一環として作成されました。ESIT はヨーロッパにおいて多くの会議通訳者を輩出した通訳・翻訳教育専門の大学院であり、日本語も正課として通訳言語にとりいれている数少ない訓練機関として知られています。通訳研究においても「意味の理論」という、多くの実践に結びついた通訳理論を

打ち出し、翻訳学研究を専門とする博士課程を設けています。一方、同じく実務家の養成に重点を置いている国際コミュニケーション・通訳専修コースをもつ東京外国語大学大学院と ESIT は 2004 年以來、ESIT の元学長であるマリアンヌ・レデレール名誉教授、通訳科担当副学長を務めるクレア・ドノバン教授をはじめ、教員間の交流を深めており、2008 年 6 月には学生交流に関する覚書の締結を契機に逐次通訳教本を共同で作成する運びとなりました。

本書の理論編は、D. Seleskovitch, M. Lederer 共著、*Pédagogie raisonnée de l'interprétation* (『理論的通訳教授法』第 2 版、増補改訂版、2002 年) に基づき、ベルジュロ伊藤宏美の博士論文 (ESIT、2006 年) の内容を補足して<sup>1)</sup>、学生向きに書いたものです。ノートテーキング例・通訳例の提供、巻末のスピーチ例の作成にあたっては、ESIT 在校生と卒業生のご協力を、実践編に記載された具体例の提供にあたっては、東京外国語大学大学院国際コミュニケーション・通訳専修コースの学生にご助力いただきました。ノートテーキングと通訳の実演では、東京外国語大学大学院および ESIT の修了生であり、現在 ESIT で教鞭をとっている延増崇子講師にご尽力いただきました。また理論編の執筆と練習問題作成においては、東京農工大学大学院の守一雄教授 (認知心理学・教育心理学) から貴重なアドバイスをいただきました。付録 DVD の製作にあたっては、東京外国語大学教育情報化支援室の尾形航氏に多大なるご協力をいただきました。あらためて感謝の意を表します。

2009 年 秋

ベルジュロ伊藤宏美  
鶴田知佳子  
内藤 稔

# 本書の使い方

## 1. 本書の特長

### ◎ナマの授業を直に体験できる DVD

プロ通訳者がどのようにノートテークングを実践しているのかを、逐一詳しく DVD で解説。ノートテークングに基づく訳出例も示し、ESIT を卒業したプロ通訳者が母語の英語に通訳したときのノート例や、ESIT で教職をとるプロ通訳者による逐次通訳例も収録しました。また、教本では両校の学生によるノートテークングの実例を紹介しています。実務につきながら将来教職をめざす人たちの参考書としても最適です。

### ◎実技指導の現場からのスピーチ例を収録

東京外国語大学大学院および ESIT の教授陣が、実際に授業で使ったスピーチ教材をそのまま使用しています。あたかも両校の教室で講義を受けているかのような、臨場感あふれる体験ができます。

### ◎逐次通訳の理論的背景を丁寧に解説

逐次通訳を行う上で必要とされる理論的背景を、実例を挙げながら詳しく、わかりやすく解説しています。実技面からだけでなく理論面からも、通訳行為を深く学ぶことができます。

## 2. 本書の構成

会議通訳は大きく分けて同時通訳と逐次通訳の二つが挙げられますが、本書は特に逐次通訳に焦点をあてたものであり、通訳学習経験者や大学および大学院で通訳を学ぶ方々を対象としています。

本書は具体的には、以下の三つの要素で構成されています。

- ・理論編
- ・実践編
- ・通訳演習用実例集（付録 DVD）

本書は、学習する人のレベルに応じて、まずは実践編から勉強し、理論編を参照するという使い方もよいですし、すでに通訳をある程度の期間学習している人であれば、自分の体験をもとに理論的な面を振り返るといった使い方をされてもよいでしょう。その際、ぜひ通訳演習用実例集（付録 DVD）もご活用ください。

## 【理論編】

理論編では ESIT のダニツァ・セレスコビッチ、マリアンヌ・レデレール両教授が提唱した「意味の理論 (Théorie du sens)」に基づいた通訳教育メソッドを紹介しています。ここでは通訳の理論的枠組みが示されていますが、この部分は最初から読むのではなく、通訳を実践する上で指針を得たいと思う際に、後から参照することもできます。

段階的な通訳訓練の基本的な項目の解説にあたっては、単に例を挙げて説明するのではなく、体験的に理解できるよう練習問題形式にしました。これらの課題を通じて、理解力・表現力を高める手法に馴染み、知識を深めるためにどう調べるかを学んでください。

## 【実践編】

実践編では東京外国語大学大学院国際コミュニケーション・通訳専修コースの授業で実際に使われた英語から日本語、日本語から英語への逐次通訳演習でみられた共通する特徴をもとに、学習者の参考になるような解説を加えています。ここでもノートテイクの実例を豊富に取り入れています。それに続き、ESIT の学生・卒業生が作成した通訳演習用スピーチを、易しいものから本格的なものまで、多様な分野の逐次通訳素材として掲載しました。

## 【通訳演習用実例集(付録 DVD)】

逐次通訳で重要と考えられているノートテイクを具体的に目に見える形として示すために、付録 DVD において音声と映像を提供しています。ノートテイクは通訳の学習者がもっとも具体的な指針を求め、お手本を望むところであり、DVD の形でいつでも好きなときに復習することができるようになっています。教本を読んだだけでは具体的なイメージを思い描けなかった点や、難しく考えすぎていた点が、実演を見ると、「これでよかったのか」とわかるところもあるでしょう。また、音声素材を活用することで、何度でも逐次通訳の練習ができます。

\*指導者向けに、本書実践編のスピーチの訳例を収録した「指導者向け訳例集」をご用意しています。ご希望の方は、角6サイズ(162mm×229mm)の封筒に宛先を記載し、120円切手(1冊分)を貼った返信用封筒とともに、下記までお申し込みください。

お申し込み先:

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

東京外国語大学出版会

tel: 042-330-5559 fax: 042-330-5199

e-mail: tufspub@tufs.ac.jp

### 3. 付録 DVD の使い方

付録DVDは主に二つの観点から構成されています。

まずは、本書の実践編で取り上げている順番で、実際に教室で使われたスピーチとその逐次通訳が音声ないし動画で示されている点です。もう一つが「よくわかる逐次通訳」を具体化するために、特別に収録されたノートテーキングの実例とパフォーマンス例です。会議通訳者および指導者としての長年の経験をもとに、わかりやすく、語りかけるような口調で、お手本を示しています。

ノートテーキングがこのようにDVDで示されたことで、これまで最も学習者が知りたいと思っていたノートテーキングのエッセンスを何度でも復習することができます。

使用する方のレベルや目的に応じて、基本から積み上げていくやり方、あるいは復習に用いるなど、多種多様な使い方が可能です。収録されているコンテンツは以下のとおりです。

#### 【通訳演習用実例集】

##### ◆東京外国語大学大学院での実例

My memories back in India\* 英日スピーチ

裁判員になるのはどういう人たち?\* 日英スピーチ

##### ◆ESITでの実例

E1 Malaria スピーチ (1) 通訳実例 (1)

E1 Malaria スピーチ (2) 通訳実例 (2)

E2 Inuits ノートテーキングの事前説明

E2 Inuits スピーチ (1) 通訳実例 (1)

E2 Inuits スピーチ (2) 通訳実例 (2)

E3 Oxbridge\*\* スピーチ (1) スピーチ (2)

J1 京都市の温暖化対策\*\*\* スピーチ (1) スピーチ (2)